

【事例発表】

団体名：公益財団法人とよなか国際交流協会(ATOMS)

【HP】 <http://www.a-atoms.info/>

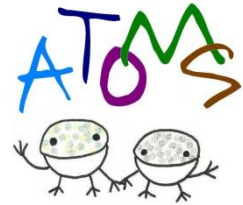
【Mail】 atoms@azacj.jp

＜団体紹介＞

公益財団法人とよなか国際交流協会（大阪府豊中市）では、「市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる」を基本理念とし、市民との協働をベースとしながら、多様な外国人市民に対する日本語活動や居場所づくりなどを行ってきました。

1993年から20年以上、外国人のための多言語での相談サービスや子どもの居場所づくりなど、ニーズに応じた取組をおこない、活動の幅を広げてきました。

2012年度からは、これまで関わってきた子ども世代の成長や新渡日の外国人・外国にルーツをもつ若者たちの増加にともない、若者世代に向けた活動に取組み始めました。「こども」世代から「おとな」世代への変わり目であり、ライフコースやアイデンティティにおいても変化が多い外国人・外国にルーツをもつ若者たちと、試行錯誤しながら、悩みながら活動を運営しています。



Association for Toyonaka Multicultural Sympiosis

＜事業紹介＞

2013年度より本プログラムを受託し、外国にルーツをもつ若者のための支援事業を行っています。

3つの取組み内で5つの講座が生まれ、それぞれのカラーを出しながら活動しています。

おしごとカフェ 

「おしごとカフェ」では、外国にルーツを持つ若者が集まって、自分らしい働き方やライフスタイルについてみんなでおしゃべりをしています。「カフェ」ということなので、お茶やお菓子、お部屋のコーディネートもちょっとこだわっています。月に一回、土曜日の午後2時から4時で開催中です。ぜひのぞいてみてくださいね！



多文化ダンス教室

「わたパチ」

外国にルーツをもつ子ども・若者を中心に構成されるダンス教室です。さまざまな世代が参加して、仲間とともに楽しくダンスを練習しています。

毎週木曜 18時～20時、日曜 10時～12時・13時～15時に活動しています！



インターネットラジオ番組

とよなかエアライン 

インターネットラジオ番組、とよなかエアラインは、毎回外国にルーツがある若い人を乗客に迎え、架空の飛行機、とよなかエアラインの中で好きなこと、話したいことを話してもらう番組です。毎月第1日曜日、素敵な声の旅をお楽しみください。



若者のたまりば 

「若者のたまりば」では、毎週木曜日の夜にみんなでご飯をつくったり、食べたり、話したりしています。

活動では、やるべきことを特に決めていません。単に「いっしょにいるだけ」でもいいし、「なにかやろうよ」と提案するのもあります。参加しているお互いのことを尊重しながら、様々なルーツをもつ高校生や大学生、仕事をしているひと、ふらふらしているひとなどが集まって「ばづくり」をしています。

てーげー大学 

外国にルーツをもつ若者が中心となって、映画をみたり、話をしたりしてアイデンティティや表現について考えています。何かしんどいけど「何か」が分からない、どうにかしたいけど「どうにか」が分からない。そんな迷っているあなたは、迷わずてーげー大学へ！

(月に一度、日曜日に開催)



事業実施概要

事業名称	外国人の若者の生活力・表現力アップ日本語事業～ユース・多文化エンパワメントプロジェクト～				
地域の課題	15歳以上の義務教育対象年齢を超えた外国人の若者たちは、所属や社会背景がそれぞれ異なりニーズも多様です。学校などと連携がとりやすい義務教育期とは違い、必要な日本語支援やキャリア支援につなぐことが難しく、また、自分の想いを表現し、互いに聴きあうことのできる場も限られています。				
事業の目的	外国人・外国にルーツをもつ若者を対象に、地域市民としての若者の社会参画を促す事業を展開すると共に、関係機関との連携を通じて若者を支援する地域の体制整備を行います。若者らが日本語を習得しながら、将来設計や生活に関する様々な知識や情報を得ることができ、表現活動などを通じて仲間づくり・居場所づくりにつながるような取組を実施しています。				
事業内容	取組1		取組2		
	名称	ユース☆ライブプランニング日本語講座	名称	ユース☆対話・メディア表現日本語講座	
	目的	地域の各機関と連携しながら、若者が社会生活に必要な日本語やネットワークづくりをおこなう。	目的	対話やメディアリテラシーの実践者と共に、外国にルーツをもつ若者の対話や表現活動を行う。	
	内容	①キャリアアップ日本語講座『おしごとカフェ』:カフェ形式で、自らの適性や希望に沿ったキャリアについて考えながら、必要な日本語を習得しました。 ②～からだどころの～フリーダム日本語講座『多文化ダンス教室「わたパチ」』:ダンスをきっかけに、身体やコミュニケーションに必要な日本語を学び、地域の人との交流も行いました。	内容	①対話・表現講座『てーげー大学』:外国にルーツをもつ若者が自分自身のライフストーリーや自らの想いを他者に伝え、聴きあうための意見交流活動を行いました。 ②表現・製作講座『インターネットラジオ番組「とよなかエアライン」』:ラジオという「声のメディア」について制作の基礎や構成を知り、オリジナル番組の制作と発信を行いました。	
	対象	外国にルーツをもつ若者	対象	外国にルーツをもつ若者	
	時間	1回2時間×104回(全210時間)	時間	1回2～3時間×18回(全46時間)	
	人数	55人	人数	14人	
	取組3				
	名称	ユース☆「た・ま・り・ば」日本語講座			
	目的	居場所としての場を設けることで、多くの若者のニーズの吸収や相談が出来る体制を整え、セーフティネット構築を目指す。			
	内容	①若者の『たまりば』:料理を通じたコミュニケーションと対話の場づくりを行いました。課外活動も季節ごとに行い、地域イベント「豊中まつり2014」にも参加者で出店もしました。 ②たまりばエキストラ・本を読む会:自分の好きな本を持ち寄り、紹介し合いました。			
対象	外国にルーツをもつ若者				
時間	1回2時間～8.5時間×60回(全145.5時間)				
人数	137人				
連携体制	行政担当部局、教育委員会、外国人教育の専門家、若者相談の専門家などを交えた実行委員会にて適宜意見を聴きながら、NPOや市民グループなどと連携をもち、事業を展開しています。				
成果と課題	定期的に活動参加する若者が増え、参加者同士のつながりや交流も増えています。地域のイベントに参加する機会が増え、若者支援機関との連携体制も構築しつつあることから、活動の地域での認知度も上がってきました。一方で、若者層への新たなニーズの掘り起しや、まだ活動を知らない層への広報活動などの必要があります。高校や大学との連携、事業所への周知などが今後の課題です。				
参加者の皆様へ一言	若者たちの、たくさんの想い(願い、悩み、気づき、迷い、楽しみ…など)が詰まった活動です。当日は、事業コーディネーターの若者も発表に伺う予定ですので、今後の活動について忌憚のないご意見をいただくとともに、応援していただければ幸いです。				